

田和山の森から

第 255 号
令和 8 年 1 月 9 日
里山を育てる会

「新年あけましておめでとうございます。本年もよろしくお願ひします」

昨年は、猛暑に加え異常に早い梅雨明けで田和山の植物も少なからず影響を受けましたが、皆様方のご尽力により無事に乗り越え新年を迎えることになりました。田和山周辺の市街化も一段と進み、緑の孤島になりましたが、今年度の活動の目標を「キンランとササユリの株数の増加」に置き、田和山の森の維持に取り組みます。あわせ、新規会員の加入に向けた取り組みをしていきたいと考えています。

具体的な作業は、今年も週一回のペースを守りながら「急がず、焦らず、ゆったり」とした気持ちで、おののの体力に応じ楽しみながら作業を進めたいと思います。

新しい年が、皆様にとって素晴らしい年となることを祈念し、挨拶とさせて頂きます。

里山を育てる会会長 竹下幹夫

12月の作業から

林床の整理とカブトムシ

キンランの株数の増加を目指し、西側斜面の林床の整理を進めています。具体的には林床の刈り払いと、落ち葉の搔き取りになります。今年も 11 月から始め、12 月段階で 6 割方終えられました。

この作業で発生した落ち葉を集積し腐葉土を作っていますが、集積した場所では、大量のカブトムシの幼虫がそだっています。このカブトムシを大きく育て活用しようということで、12 月段階で、衣装ケースに 2 箱に移しています。大きく育つこと願うばかりです。

あり、他の樹木と干渉していますので、倒すための準備を入念に行いながら作業を進めます。とりあえず 1 本だけは切り終わりました



遊歩道周辺の枯損木の伐採

遊歩道の周りで、数本の枯れた木や枯れそうな樹木がありますので、伐採作業を始めました。どの樹木も樹高が 15 メートルを超えるもので

1月の予定

主たる作業

- ・林床整理・枯損木、雪害木の伐採・カブトムシの養殖

田和山の樹木 第 67 回 アオキ

アオキは、北海道南部から沖縄まで日本各地に広く分布する、アオキ科アオキ属の常緑の低木です。樹高は、高くなても 3 メートルほどで、枝も幹も緑色となります。

日陰に強い植物として知られ、家の北側やビルの谷間など条件の悪い場所に植栽されることの多い樹木です。葉は厚く光沢があり長さは 8 ~ 20 cm 程度です。葉に斑が入ることがあり園芸品種もあります。冬から春にかけて赤い実

になりますが、雌雄異株のため、両方がないと実をつけません。

田和山にあるアオキは、林内整理の際刈り取られることが多いためか樹高が低いものが多いですが、写真左のような斑入りのもの見つけられました。



今後の活動予定 令和 8 年 1 月 9 日(金)作業後に新年会、1 月 17 日(土)、1 月 23 日(金)、1 月 30 日(金)、2 月 6 日(金)、2 月 13 日(金)、2 月 21 日(土)、2 月 27 日(金)。時間は 13:30 から、ただし土曜日は 9:00 からとなります。